



# すたやか

荻田町青少年育成町民会議だより

よーし、やってみよう!

↓これから何が始まるのかな?



↑インストラクターの方々



↑私、お父さんを引っ張るよ

2月10日(日)総合体育館にて家庭教育講座を開催しました。スポーツインストラクターを招いて、親子一堂が楽しく運動やゲームを行いました。約100名の親子は、わいわい、がやがや、とことん楽しく遊び通しました。

子どもたちと大人のふれあい広場  
みんなで楽しく  
心と体を弾ませて!

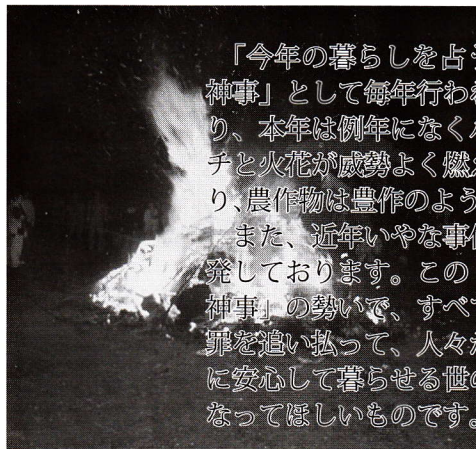
「青少年を明るくのびやかに育てよう」



## ～どんど焼き～特別補導

2月12日(火)

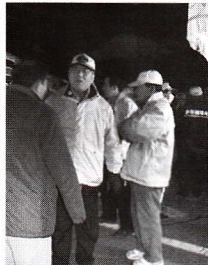
与原 白庭神社



「今年の暮らしを占う 福焼神事」として毎年行われており、本年は例年になくパチパチと火花が威勢よく燃え上がり、農作物は豊作のようです。また、近年いやな事件が多発しております。この「福焼神事」の勢いで、すべての犯罪を追い払って、人々が安全に安心して暮らせる世の中になってほしいものです。

↓生徒指導研修部会の委員の方々

→補導環境部会の委員の方々



## 安全を確保する 【防犯パトロール】

※青色パトロールカーは、毎日巡回しております。



不審者を捕らえるというよりも、不審者に犯罪の機会を与えないことが目的です。パトロールの姿を数多く見せれば、不審者に「スキのない町」とアピールできます。

荻田町では、町内各種団体等多くの皆様方の協力を得て、防犯パトロールを実施しています。これは、子どもたちの安全だけでなく、その地域全体の犯罪を未然に防ぐうえでも大変有効です。

### ※不審者・変質者の出没状況について※

新津中学校西側の歩行者専用道路で、登校途中の女子中学生が、男から「5万円で仕事をしない？」と声を掛けられた。

生徒が断ると、男は「友達を紹介してくれ。」と言ったが、生徒は「できません。」と言って走って逃げた。

なお警察には、通報済みである。

### 《不審者の特徴》

40代の男

身長180cm. くらい

髪の毛は黒で短く、天然パーマ

赤いスポーツ用のハーフコート着用

平成13年4月に退任者の補充で「少年補導員」に任命されて7年が過ぎました。少年補導員制度は、まだ戦後の余韻が残っている昭和30年代に入り、全国的に少年の非行が社会問題化する中で、少年非行の防止及び少年の健全育成を目的に創設されたものです。福岡県においては、昭和42年に少年補導員制度が発足し、現在では「社団法人福岡県少年補導員連絡協議会」の下、地域を管轄する地元警察署長から委嘱をうけた2418名が活動しています。荻田町においては、行橋警察署長から委嘱を受けた20名の少年補導員が活動しています。毎月2回の「県下一斉街頭補導」や「少年を守る日」等の街頭での補導のほか、有害施設への立ち入り、「みなと祭り」や「神幸」と言った行事、また各種の青少年健全育成研修会等に幅広く参加しています。通常、街頭補導は補導員複数で行うことを原則としていますが、時にはどうしても単独であっても声を掛けなければならないことがあります。その様なケースの一つとして、昨年夕時に中学生らしき2組の自転車の二人乗りを見掛けました。自転車の二人乗りは、危険なので声を掛けるようにしていますが、その内の1人が食べていたパンの袋を無造作に路上に放り投げたので、「袋を道に捨てたらいかんね」と注意したところ、顔を



こちらに向けたまま「ぼかん」とした表情で走り過ぎました。私自身も、意外な反応に拍子抜けの感が見えたと、私が注意されたことそのものが理解できない。詰まるどころ「悪いことをしたと思っていない」のではないかと考えるようになりまし。もし、私が中学生ならば、「すみません」と言うか「頭をすぼめて」走り去るか何らかの気まずい時に見せる態度を取るのですが、そう言ったこともしなかったのは明らかに普段「叱られ付けていない」と言うことではないでしょうか。私たち少年補導員の「街頭補導の心得」にも「街頭補導要領」にも「叱る」と言う項目はありません。確かに訳もなく叱るのはよくありません。しかし、この様に「叱られる意味」も判らなくなってしまうのは如何なものでしょうか。わたしの周りでも「叱られ付けていない」若者が増えているように思われます。ただ、人を叱ると言うのは大変難しいと思います。叱ると言うことは、同時に叱る側の姿勢も問われるからです。正しく叱るには、正しく叱る技術(スキル)を身に付ける必要があります。私自身の反省も含め、「叱る意味」の大切さを今一度社会として考え、見る必要がありそうです。





# 「家庭の日」・「オアシス運動」町内入選者発表

※皆さん、入選おめでとうございます。 = 前号のつづき =

うきうきドキドキな休日

与原小5年 三吉 雛子

「明日は休みだ。」  
と思つた時のドキドキ感、いつも  
うれしいものです。これは大人にな  
っても続いていくらしいです。

わが家は、お出かけ大好きな両親  
のえいきやうで、休みにになると家族  
でよく出かけていきます。日ごろね  
ぼすけの私も、休みの日はさわやか  
に目が覚めます。学校で先生や友達  
と勉強したり遊んだりするのも楽し  
いけれど、家族でおしゃべりしたり、  
笑いながら過ごす休日は、気持ち  
がうきうきしていつもよりうんと笑  
顔になります。

夕ご飯の時、お父さんが

「今日の休みはどうする？」

との一言から始まり、計画や準備は  
主にお母さんがします。その話にみ  
んなが乗っかかり、あつという間に  
決定します。

海や山などに行くことが多いの  
で、いつも車の中は荷物でいっぱい  
です。

この前の昼食は、お父さん主さい  
で、山においしい水をとりに出かけ  
て、カセットフーで水をわかし、  
カップラーメンを食べました。外で  
食べると、とてもおいしかったです。  
私のお父さんは、海や山が大好きで、  
いろいろな遊び方を知っています。  
お姉ちゃんや私に楽しいことを教え  
てくれたり、一緒に遊んでくれたり  
します。その様子をお母さんは、

「遊び人三人組。」  
と言つて、ニコニコ笑いながら見て  
います。

休みの日は、家族でおしゃべりし  
たり、のんびりと過ごすのが、一番  
好きです。また明日から、がんば  
ろうという気持ちになれる気がしま  
す。

そして何より、毎日仕事で、いそ  
がしいのに、休みに日に一緒に楽し  
く、過ごせる家族が大好きです。

本当の「オアシス」

与原小4年 田中 優海

生き物が生きていくのに、「オア  
シス運動」が、なくてもいいもので  
す。でも、同じ生き物でも人間が生  
きていくためには、「オアシス運動」  
が大切だと思います。

朝、おきたら笑つて「オハヨウ」と、  
言うとき、みんなも笑つて「オハヨウ」  
と、返してくれる。そうすると、一  
日がんばるぞという気持ちになる。  
こうして「オアシス運動」が始まり  
ます。「オアシス」は、「オハヨウ」「ア  
リガトウ」、「シツレイシマス」、「ス  
ミマセン」がある。その中でもわた  
しは、「アリガトウ」を大切にしてい  
ます。

今年の夏休み、わたしは、毎日ラ  
ジオ体操そうに行きました。体そうす  
る公園には、花火のごみがたくさん  
落ちていました。わたしは、お母さ  
ん達といっしょに体そうが始まる前  
に妹をつれてごみを集めました。す  
ると、お母さん達に「ゆみちゃんゆ  
いちゃんありがとう」と、言われま  
した。わたしは、とてもうれしかっ  
たです。妹もうれしそうでした。何  
かしてもらったり、してあげたりし  
た時「ありがとう」と言うとき、あ  
いってわたくしもうれしい気持ちにな  
ります。花火のごみはだれが捨てたの  
かわからないのに集めたわたし達に  
も「ありがとう」と、言ってくれて本  
当にうれしかったです。

「オアシス」と言う言葉をじしよ  
で調べると、心、安らぐ所と言う意  
味もありました。わたし達が「オア  
シス運動を進めていく事は、心、安  
らぐ所「オアシス」を、作ることに  
と言う本当の意味がわかりました。  
わたしは、これからも「オアシス  
運動」をつづけて本当の意味の「オ  
アシス」を作つて行きたいです。



荻田中1年 森山栄美



馬場小6年 吉田夏未



荻田小5年 牧夢人



片島小4年 松本七海



与原小3年 中嶋将也



与原小2年 上野栞奈



南原小1年 板谷真帆

「はだしのゲン」を見て

与原小5年 井口 結貴

ぼくは、テレビで「はだしのゲン」  
を見ました。  
六十二年前に日本にピカドンが落  
とされてたくさんの人々が被害にあ  
つてむざむざ死なされた。今ぼくたちは  
戦争を反対して一人一人に二度とあ  
やまちをおこさないよう心にきざん  
で行きたいと思っています。戦争をして  
も何も良い事はありません。

六十二年前にもうすでにものすご  
い人達が被害を受けているので今も  
しまた戦争をすれば地球の人々は  
一人残らず死んでしまうという事  
です。そんな事は絶対イヤです。大切  
な地球をぼくたちの力で絶対守らな  
ければいけません。現在日本では自  
然のめぐみの食べ物や場所がたくさん  
あります。今そんな時代に生きて  
いる自分達は幸せだと思っています。そ  
れなのに食べ物を残してムダにし  
たりまだ使えるのにすてたりこわし  
りして物を大切にしない事がありま  
す。昔の人からよく大切にしないさ  
いと言われます。その時は注意されて  
も何とも思いませんでした。がゲンの  
事を思えば本当に自分ではげたくだ  
と感じました。戦争反対絶対しては  
いけません。それには全世界の人々  
となかよくおたがい助け合つて行き  
たいと思います。戦争しても何も残  
りません。一人一人未来の事を考え  
たら戦争など人をきずつけるだけ  
のことなのです。

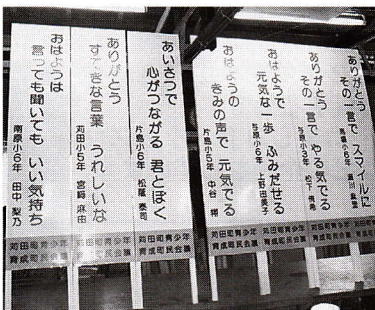
(作文は原文のまま掲載しています)



## 19年度 県入賞者

部 門	賞	学校名	名 前
ポスター	奨励賞	南原小2年	金田 凜太郎
"	奨励賞	南原小5年	末松 万由子
"	奨励賞	荻田中2年	古庄 麻穂
作 文	奨励賞	与原小5年	三吉 雛子

毎月第3日曜日は、  
「家庭の日」です。



荻田町青少年育成町民会  
議では、毎年「家庭の日」・  
「オアシス運動」標語入  
選者の看板を各学校に設  
置しております。



## ～放課後児童クラブにて～ その2

ズームイン!!



### ★「荇田小学校学童クラブ」



お友達がたくさんいるよ。

荇田小学校のプール横に平成8年4月に設立しました。

3時すぎになると1年から3年までの児童が続々やってきます。

宿題から始まって、おやつ、遊びと楽しい輪が広がります。約70名の児童が在籍しており、話題も豊富です。「荇田小学校学童クラブ」の子どもたちは特に外遊びが大好きで元気に毎日を過ごしています。



寒くなんか全然ないよ

### ★「星の子クラブ」

放課後になると、片島小学校と白川小学校の児童9名が白川保育園にやってきます。

ここは、平成11年4月に設立しました。面倒見のよい子を中心に和気あいあいとした雰囲気です。夏休みになると約30名の児童がやってくるそうです。



ハイ！チーズ

みんなでいろいろなものを作ります。



あそびの中には、「ルール、体力、知力、想像力、忍耐、コミュニケーション力」等を育み、子どもの育成には「あそび」は欠かせないものです。また、あそびは、自発的ではないと楽しくないと思います。見た事、聞いた事や本で学んだ事は、忘れがちになりますが、体験した事は、身に付くといえます。低学年生頃は、まだまだ自己中心的でよくケンカやトラブルが絶えません。自分の都合の良い「ウン」も言います。この「ウ

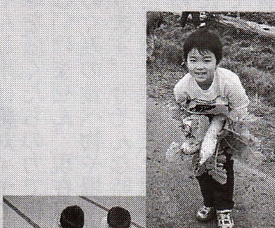


子「あそび！あそび！」  
「バアバア」いいよ。何してあそぶ？  
子「何でもいよ」...「自己表現」を出さない、思いつかない。でもあそぼうと言います。  
「バアバア」なわとびする...  
子「うん、するする」...しばらくあそんでいるとだんだん難しくなってきました。  
子「もうやめる。ほかのあそび！」  
あそびたい気持ちはわかりますが...もっ少しでもしるくなるのに...  
現代っ子は、物であそぶことは上手ですが、考え、広げていくことは難しい様であります。いっしょにあそぶのではなく「子守り」的なものを感じます。



バアバアの一言 No.6

世の中は、常に移り変わっていくと理解しています。良い事もあれば悪い事もあります。変化しながら進化していくものです。そんな中で自分の子もよその子も未来に生きる子どもたちです。いろんな子どもたちがいて良いはず。私たちの文化や生き方をたくさん伝えていきましよう。人として生涯の幸せとは、何でも。心豊かな人生かなあ？勉強、スポーツなど頑張ることかなあ？将来に向けて夢と希望をもつて社会の成人として心身ともにたくましく成長して欲しいですね。考えてみてください。終わり。



「ソ」は自己防衛のためが多いです。高学年生頃になると活動が活発になり、友だちが一番の時期です。扱いづらい時期です。良い事、悪い事を体感するものは何でも吸収していきます。これらは、成長課題である事と心得ておくことです。子どもたちに正しい認識や行動を身に付けさせるため、親も親業を学習していかないと不安になってくるでしょう。  
特に中学生になると思春期というものがあります。大変はおもいますが、自分育てのつもりで、親業を頑張ってください。

### 子ども会をご存知ですか？

～新年度子ども会加入者募集のお知らせ～

子ども会加入の手続き方法などの  
問い合わせ先はこちら→

荇田町子ども会育成連合会  
(中央公民館第1会議室内)  
会長 田口朝子 ☎090-4589-3200





## 与原小学校では二月一日に 五年生がもちつきをしました。

与原小学校では二月一日の総合学習で一年間取り組んできた米作り学習（地域の方の田んぼを借り、教えていただきながら、種まき見学、田植え、草刈り、稲刈りなどを行いました。今年は、五俵のお米を収穫できました！）のまとめとして、もちつきをしました。もちつきには、老人会約五十人、保護者約五十人、合計百人以上の方々のお手伝いにより、スムーズかつにぎやかに行うことができました。

ほとんどの子どもたちにとって、杵でおもちをつくのは初めてのことで、最初は慣れない手つきでふらふらしていました。老人会の方の指導でどんどん上手になっていきました。ついたおちは、全校児童やお世話になった方々に配り、やわらかくてとてもおいしかったと大好評でした。



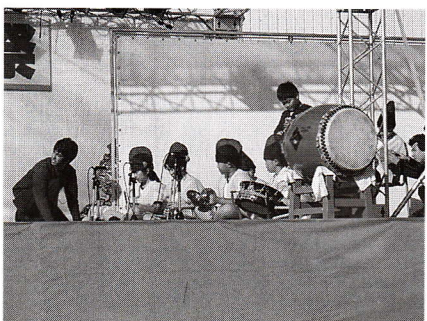
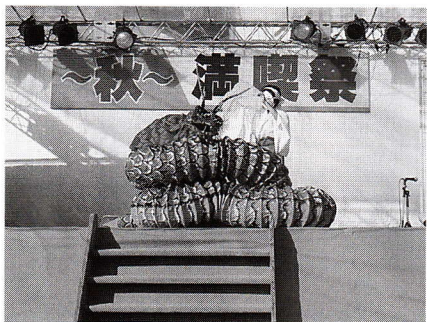
## 片島小学校では六月二十二日に漁業体験、 十月二十七日に秋満喫祭を行いました。

片島小学校では秋晴れの空の下、片島JA倉庫の駐車場で「秋満喫祭」が開かれました。当日は、四、五年生の有志が「天神かぐら」を発表し、地域のたくさんの方々に練習の成果を披露することができました。

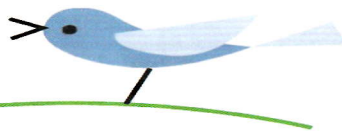
最後にお面をとって会場みなさんに挨拶をしたときの子どもの顔は「やったぞ」「最高！」といった満足感にあふれていました。

片島小学校五年生は漁業体験も行っています。

刈田町漁業協同組合での「せり見学」と「ガザミの放流」です。もちろん初めての体験の際に、ガザミ放流では、小さな命をいとおしむように、稚魚をそっと手のひらにすくっている子どもたちの姿がとても印象的でした。







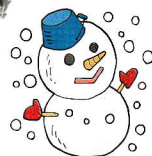
## ゆき・雪・白一面

2月13日苅田町内は、突然の大雪に見舞われました。そんな中、昼休みに馬場小学校の校庭を訪問しました。

久しぶりの雪で手がかじかんで冷たくなり、寒かったけれど、見渡す限りの雪景色に子どもたちは、とてもうれしそうでした。



↑かまくらヨ！



↓雪ダルマ作り手伝って！



### 役員・委員講演会開催される

1. 日 時 平成20年3月7日(金)
2. 場 所 三原文化会館大ホール
3. 講 師 元北九州市子ども総合センター  
支援室 室長 藤本 初 男 氏
4. 演 題 『今、子どもたちは…』  
(「心」のサイン・事例を  
通して考える)



講演内容は、若年層の犯罪の多発など、現代社会を反映しての家庭教育のあり方、そして家庭・地域で子どもたちを守るため家庭・学校・地域住民・関係団体などの連携がより一層重要になってくるといったことを主なテーマとし多くの事例を交え、ご講演を頂きました。

当日大変お忙しい中、ご参加を頂いた皆様、ありがとうございました。

### 町民会議 19年度1年間の活動

## “継続は、力なり。”



第19回 総会



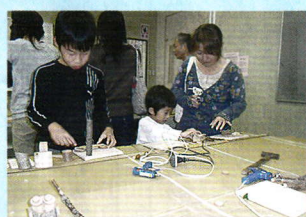
港まつり



イカダ大会



オアシス人形劇



子どもフェスティバル



シンナー等薬物乱用講演会



朝の声かけ運動



健全育成講演会

#### 編集・発行

苅田町青少年育成町民会議  
すこやか編集委員会  
☎093・434・9838

平成19年度すこやか編集委員  
編集委員長 松枝 玲子  
委員 庄野 和子  
荒鬼 文子  
石田 正枝  
金丸 晴樹  
三浦 豊

18年度、19年度と2年間編集委員に籍を置いておりましたが何の助けにもならず、今年度最終号となりました。安堵していましたところ編集後記を仰せ付けられました。町民会議事務局を近くで感じる者としては、1ページから6ページまで記載内容を決め、それをそれぞれの方に依頼し、回収、編集と、委員さんとはとより、事務局の大変さが伝わってきます。また、記載する記事の一つ一つにも関わって行かなければいけないのですから。そしてそれは、一年間の行事の総てが「すこやか」年3回分に詰まっているのです。色々な団体の広報誌等も、皆そのように作られていると思います。が、「すこやか」は青少年の広い視野からの広報誌なので気が抜けません。毎回毎回のレイアウト等お疲れ様です。

荒鬼 文子

#### 編集後記